

あなたと市政をつなぐ情報紙 市民派無所属

府中市議会議員／会派 市民の風

ゆうきりょう

市政
通信

毎日ブログ更新中

ゆうきりょう

電話 090-4136-7642



急激な物価高騰から市民生活を守るために緊急要望書を高野市長あてに提出

6月28日付で、高野市長あてに、「市民の風」として、「物価高騰から市民生活を守るための緊急施策についての要望書」を提出しました。わが国の経済状況は円安、ウクライナ戦争などの影響により、輸入品をはじめ、資源、原油、資材などの価格が急激に上昇し、コストプッシュインフレとスタグフレーションの状況に陥り、コロナ禍において、賃金が上昇しないなかでのインフレが市民生活を脅かしています。

給食費はじめ福祉行政への支援策を求める

こうしたなか、多摩地域では補正予算を組み市民生活を守る施策を実施している自治体もあります。なかでも学校給食費用への財政援助をはじめ、福祉関係への支援策など多岐にわたる支援策を実施しています。そこで府中市においても財政調整基金や、国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金なども活用して、9月議会で補正予算を組むなど、市民生活を守るための緊急施策を実施するよう、3点要望しました。

要望1 食料材料費の物価高騰が著しい今日、学校給食費の引き上げを抑制するために、補正予算などを計上し、給食費への財政支援を要望します。

要望2 福祉や保育などの行政関係においても、多岐にわたる分野で物価高騰が市民向け行政サービスの縮小を余儀なくされる事態が想像されます。そこで例えば三鷹市が実施したような、行政サービスにかかる諸経費への財政支援策について要望します。

新聞記事によると、「三鷹市内94の保育施設に対して、食材費8%、光熱費とガソリン代10%（公立保育所除く）を支給。22の小中学校には給食1食あたり8%の金額を補助、家庭が負担している給食費を据え置く」とし、「介護、障害者施設などには1事業所あたり3～8万円を給付し、

訪問サービスを除いて利用者数に応じた給付をする」というもので、今年の7月から来年3月までとしています。

府中市でも物価対策本部を設置し、ただちに具体的、機敏な対応を

要望3 府中市に「原油価格・物価高騰等総合緊急対策本部会議」（仮称）を設置し、市民生活を守るための諸施策の実施について検討する機関の設置を要望します。

埼玉県の行田市では今年の5月に、「原油価格・物価高騰等総合緊急対策本部」（仮称）の設置し、●原油価格高騰対策、●エネルギー・原材料・食料等安定供給対策、●新たな価格体系への適応の円滑化に向けた中小企業対策等、●コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援、●今後への備え、公共事業の前倒し、など5本の柱で構成し、施策の具体化を図っています。

今こそ、住民福祉の守り手である自治体の機能が試される時だと考えます。当然、国による制約はありますが、府中市においても最大限、住民の命と暮らしを守る施策実施への努力をするべきです。ぜひ9月議会において、私もこうした施策を求めたいと考えています。

府中市が来年度から、18歳まで高校生の医療費完全無償化を所得制限なしの実施へ

多摩地域の自治体でさきがけて、自主財源で実施へ

7月2日付読売新聞インターネットニュースによると、「東京都が来年度から実施を予定している高校生の医療費助成について、府中市の高野律雄市長は1日、所得制限なしの完全無償化とし、都の助成の対象外分は市の自主財源で補う方針を明らかにした」と同新聞社の取材に答えたと報じています。

同ニュースのなかで、高野市長は読売新聞の取材に対して、「子育てしやすいまち、府中として、高校生についても無償化に取り組んでいきたい」とコメントし、9月の定例市議会には、医療費助成のシステム改修費を含む補正予算案を提出するとのこと。高校生の医療費無料化については、23区が高校生まで完全無償化を実施する方針でしたが、多摩地域では府中市がさきがけて、自主財源で実施することになります。

私は高野市長のこの決断を歓迎するものです。今後、わが国は少子高齢化が進行するもとの、子育て世帯、若年層にどれだけ魅力のある行政サー

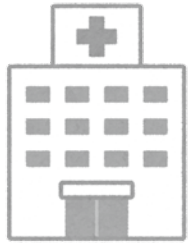
ビスを実施して、人口流入を図るかで、自治体間の「競争」になると思います。それだけに府中市の豊富な財政を、こうした福祉のソフト面において活用することは、大変意義あることです。



ゆうきりょう のラジオパーソナリティ番組

FM府中（ラジオフューズ、87.4MHz）「府中市議会議員 ゆうきりょう 市民の風」、毎週火曜日22時45分から6分間放送、日曜日も再放送。市政の動きなど情報を発信中。ぜひお聴きください。

新型コロナ感染の疑いで発熱した際、移送手段のない高齢者、市民に府中市は支援策をしてほしい（6月議会 ゆうきりょう 一般質問）



私は6月の市議会一般質問で、東京新聞3月21日付の記事「府中市内の高齢者、発熱時に通院移送手段を確保できず、自宅で『療養』に『一時は死も覚悟』」の件で、質疑をしました。この東京新聞3月21日付記事で、府中市内に住む72歳女性高齢者が自宅で発熱し、都の発熱相談センターに問い合わせをした際、「医療機関への移動について、公共交通機関を利用しないでほしい」と指示されたことが掲載されました。この女性の方は結局、誰にも病院への移送手段を依頼できず、10数日間自宅に居たとのことでした。

●質問1⇒「府中市の高齢者支援課は『実際に（移動）手段を用意できてはいないが、（女性から）一報もらえたら対応を検討できたかもしれない』と話す」とのコメントが掲載されています。この新聞記事にあるように、移動手段がなく、誰にも（移動手段の支援を）頼れない高齢者のために、市として何か支援策を検討できないか。

●市の答弁⇒ 国は、発熱等、新型コロナウイルスへの感染が疑われる症状がある場合には、適切な医療機関で受診するよう呼び掛けているため、

移動手段のない高齢者についても安心して受診できるよう、日頃から連携を取っている医療機関や保健所と情報共有を行い、個々の状況に応じた支援に努めていきます。

「できる限りの感染防止対策へのご協力」の説明の中で、含みを持たせる（市の答弁）

●質問2⇒ 今後発熱された方が、府中市や保健所に病院への移動手段について相談をされた際は、『感染拡大予防に十分配慮した手段をとったうえで、交通手段を利用してもよいです』ということ、相談者本人に丁寧に案内してもらえないか。

●市の答弁2⇒ 発熱時の相談に当たりましては、画一的に公共交通機関の利用を促すことは、難しいものと思いますが、日常生活における「できる限りの感染防止対策へのご協力」の説明の中で、含みを持たせるなど、本市を管轄しております多摩府中保健所と情報交換をして、その案内方法について検討していきます。

府中市が3回目の消費喚起商品券（プレミアム付きデジタル商品券、紙商品券の選択）を実施します（令和4年6月定例議会のポイント）

令和4年度の6月定例会で、府中市は15億8800万円程度の補正予算を計上し、可決されました。そのなかで、地域経済の低迷が続いている消費を再度喚起し、市内経済の回復を図るため、市民を対象に市内の店舗で使用できるプレミアム付き商品券を発行します（今回で3度目となります）。

プレミアム率40%、②デジタル商品券か紙商品券を選択、③26万セットを発行（スマートフォン型を18万2000セット、紙商品券を7万8000セット）、④券面総額18億2000万円（商品券5000円プラスプレミアム2000円×26万セット）、⑤事前申し込み制度、応募多数の場合は抽選（1人5セットまで）なお応募者1人につき1セットを保証します。（担当部署 府中市産業振興課 電話042-335-4142）

令和4年度のコロナ対策の内容について、プレミアム商品券は本当に必要なのか？ということです。プレミアム付き商品券にかかる金額を、今現在も多数の生活困窮者やお店、会社など、そういう本当に困っている方たちを制約なしに助ける資金として活用できないものなのかと。

他の県や市では独自で困っている人を助けているところもあります。そういったことが、府中市ではこの数年間であったのかな？と思いました。国からの指示のみではなく、街の活性化も大事ですが、その前に目の前の大切なものはなにか気づくべきです。（以上、市民の方の投稿より）～納税者の思いに応える支援策をしてほしい、というのが素直な市民の声ではないでしょうか。私にはそう思いますが、みなさんはいかがでしょう。～

府中市のコロナ対策の施策に一言！・・プレミアム付き商品券もいいけど、生活に困っている人たちへの支援をもっとしてほしい（市民の声）

街の活性化も大事だが、その前に目の前の大切なものはなにか、府中市は気づいてほしい



この暑さのなか、学校の教室のクーラーを稼働させない？！

先日、市内の小学校にお子さんを通学させている保護者の方から、以下のようなお声をいただきましたので、紹介させていただきます。



府中市内の公立小学校に子どもを通わせている親です。この数日来（6月24日～7月1日）、暑い日が続く中、子どもが在籍する学級の教室はクーラーが稼働しておらず（教室にクーラーは設置してあります）、扇風機のみでの対応のようなのです。この数日中、暑過ぎてプールの授業が中止になる気温にも関わらず、扇風機のみでの対応では、子どもたちの生命の危機に繋がるのではないかと心配しております。

ここまで暑くなる前にも、子どもが食欲なく、熱を出した事で、学校から呼び出されました。帰宅後、涼しい部屋で、沢山水を飲ませたら、すぐに回復しました。軽度の熱中症だったと思うのです。このまま暑い時期に学校に通い続けさせてよいのか迷います。（以上、保護者の方の声より）

学校長は「冷房を稼働するよう指示している」のだったが・・・

この投稿をいただき私も至急、教育委員会の事務局に問い合わせをしました。その後、教育委員会の担当者からこの学校の校長先生に確認したところ、「毎日、各学級の担任教員には、冷房を稼働させるよう指示しています」とのことでしたが、あらためて冷房を稼働するよう、教員に指導するとのことでした。大人でもこの暑さは、命の危険を感じるくらいです。学校現場の教員の方々には、くれぐれも子どもたちの命と健康を守る自覚をもって、児童生徒への指導をお願いしたいものです。

白糸台駅前の道路が陥没！

ニュース報道によると6月29日午後、西武多摩川線の白糸台駅の付近の道路が陥没しているとの報道がありました。穴の深さ30cmくらいだったそうです。すでにこの穴は舗装されましたが、陥没と厳しい暑さとの関連はわかっていないそうです。



ご意見、ご要望、苦情などお寄せください

ゆうきりょう



ゆうきりょうに市政などへのご意見、ご要望、苦情などお寄せください。

アドレス yukki4551@ozzio.jp 電話 090-4136-7642 住所 府中市紅葉丘2-6-3 メイプルタウン吉野D202

※電話の場合は、留守電にコメントを入れてください（電話にでられない場合があります）。

※ゆうきりょうはブログを毎日更新していますので、ぜひご覧ください。「ホームページ検索→ゆうきりょう」

府中市議会議員 ゆうきりょう（結城 亮）プロフィール

昭和45年（1970年）5月11日生まれ、52歳。横浜市青葉区出身、大東文化大学法学部卒、東京土建府中支店支店長などの仕事を経て、2015年4月から府中市議会議員、現在2期目。建設環境委員会委員、市庁舎建設特別委員会委員。無所属会派「市民の風」所属。